

参考資料

【低炭素社会に向けた 12 の方策】

(背景)

「2050 日本低炭素社会」シナリオチームは、2007 年 2 月に「2050 日本低炭素社会シナリオ：温室効果ガス 70%削減可能性検討」報告書を作成し、日本を対象に 2050 年に想定されるサービス需要を満足しながら主要な温室効果ガスである CO2 を 1990 年に比べて 70%削減する技術的なポテンシャルが存在することを明らかにした。

(主要な結論)

本報告は、70%削減シナリオ研究から得られた分析結果をもとに、どの時期に、どのような手順でどのような技術や社会システム変革を導入すればよいのか、それを支援する政策にはどのようなものがあるかを、整合性を持った 12 の方策としてまとめ、対策モデルと組み合わせそれぞれの方策の削減効果を定量的に把握したものである。特にエネルギー需要側での削減努力が重要であり、2000 年比の削減分担を、おおむね産業 13~15%、民生 21~24%、運輸 19~20%、エネルギー転換 35~41%と算出した。

12 の方策は、モデル研究から得られた効果的削減が可能な分野を主な対象として、その分野で取りうる対策とそれを推進する政策を組み合わせ、有識者の意見を加えて、構成したものである。すべての方策を組み合わせること、70%削減が可能となる。

(脱温暖化 2050 プロジェクト HP より)

No.	項目	内容
01	民生分野 自然にやさしい快適な住まい	太陽光や自然風を取り込める地域に合った環境共生住宅へ
02	民生分野 「買う」から「賢く借りる」へ	「借りる」ことでムダをなくして、高性能な機械を利用しやすく
03	産業分野 地域の恵みを旬にいただく	育てた人の顔が見える CO2 排出量の少ない食・農スタイル
04	産業分野 森や木に包まれる暮らし	低層・中層住宅や公共施設へ「木」の活用を進める
05	産業分野 美しい未来を支える産業・ビジネス	企業の CO2 排出量削減努力の「見える化」と社会全体のサポート
06	運輸分野 情報共有でスムーズなモノの流れ	SCM*1 導入により不必要な生産を抑制し流通の効率化を図る
07	運輸分野 歩いて暮らせる街づくり	長期的な計画に基づいたコンパクトな街づくりで安全で快適な移動を実現
08	エネルギー転換分野 CO2 をできるだけ出さずに作った電気の供給	再生可能エネルギーなど CO2 を削減する電力供給システムに期待
09	エネルギー転換分野 太陽光・風力発電の強みを活かす	太陽や風の力を思う存分吸収して新たなエネルギーを生み出します
10	エネルギー転換分野 次世代エネルギー供給	クリーンな水素、多種多様なバイオマスエネルギーに着目
11	分野横断 いつでもどこでも「見える化」	住宅やオフィスに CO2 メーターを設置して、「CO2 ダイエットライフ」
12	分野横断 自分たちの手で低炭素社会を実現	低炭素社会を設計する・実現させる・支える人づくり

*1 SCM (Supply Chain Management) : 材料の供給者、製造者、卸売、小売、顧客を結ぶ供給連鎖管理